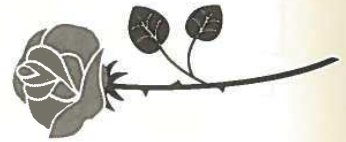


ユニット3

読み物



＜おばあさんと女の子＞

おばあさんが町でころんで、足にけがをしました。近くにいた人が電話で救急車を呼びました。すぐ病院から家族に連絡がありました。家族はとても心配して、急いで病院へ行きました。

医者は家族に説明しました。「今日、簡単な手術をします。手術後三週間は歩けません。それからリハビリをします。まだ外は寒いですから、病院でゆっくりリハビリして、三月ごろ退院したらいかがですか。」「リハビリは老人にも効果があるんですか。」奥さんが聞きました。「そうですね。老人といってもまだ六十五歳ですから、少しずつやれば、一か月ぐらいで元気になりますよ。時々訪ねてあげてください。」

医者は、小さい女の子に「きみもお花を持って、おばあちゃんの顔を見に来てね」と言って、白い歯を見せて笑いました。

次の週、女の子は両親と見舞いに行きました。病院へ行く前に、近くの花屋によりました。「そのピンクのバラはいくらですか。」「これは一本五百円です。今は寒いからね。春になると、安くなるんですけど。」女の子はしばらく考えてから言いました。「じゃあ、一本ください。」

女の子はピンクのバラを一本持って、おばあさんに会いに行きました。おばあさんはとても喜びました。「退院したら、いっしょに花畑へ行こうね」とおばあさんはにっこり笑いました。

* 救急車 ambulance リハビリ＝リハビリテーション rehabilitation ～歳 ～ years old
きゆうきゆうしや
 見舞いに行く to visit a sick person ～による to drop in (to a place) ばい
みま
 にっこり笑う to smile cheerfully バラ rose

[質問]

1. おばあさんはどうして入院しましたか。
2. 手術の後どのくらいしたら、歩いてもいいですか。
3. リハビリは何週間ぐらいですか。
4. どうして女の子は花を一本だけ持っていったと思いますか。